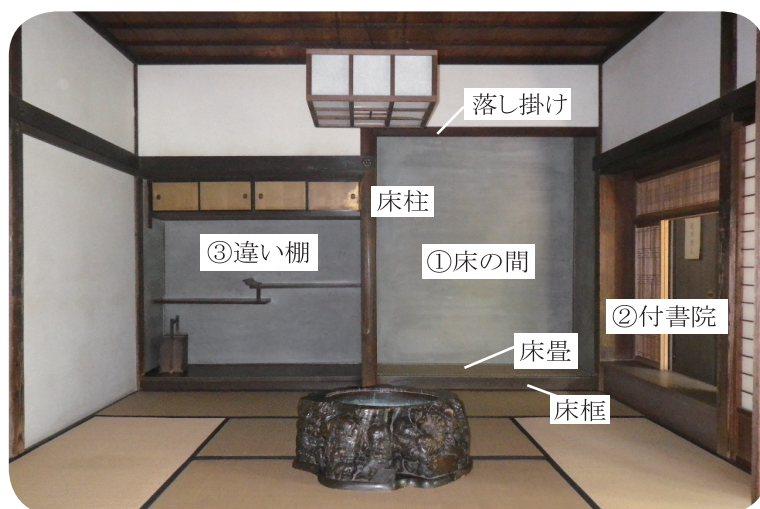


しつらえ



ほんどこ

本床形式

正式の床の間形式。床柱はすべて面取り角、床柱と床框とは共木、床框はろう色漆塗とし、床内部は紋縁の畳敷とします。これに違い棚と付書院とを付属させたものをさします。

① 床の間

通常は床柱・床框・床畳または床板・落とし掛けなどからなります。より簡易な押板は床の間の原型だともいわれています。

② 付書院

書院造りの床の間の脇の縁側沿いに設けられた装飾的な窓形式の装置です。棚板分だけ外に張り出し、簡略化されたものとして平書院があります。

③ 違い棚

床の間の脇の柱間に設けられ、天袋・地袋、2段の段違い棚板からなります。上下段の間に海老束を入れ、上段板の端に筆返しを付けます。



世田谷区旧安藤家住宅主屋にある押板

しきだい

式台

公式の出入口である玄関の前に設けられ、間口2間、奥行1間ほどの広さを持つ低い板敷の部分。式台は色代、すなわち送迎の挨拶をするところよりくるといわれています。